

こちら周辺では、田植えがすっかり終わりました。田植えの済んだ田圃には、オタマジャクシか蛙を狙ってか、サギがその白くすっきりした姿で立っています。

しばらくご無沙汰しておりました。皆さんお元気にご活躍のことと思います。一部の方からは、「登頂記がしばらく来ないが、元気か？」とのご連絡があり、気遣って頂いて有り難く思っています。山の会のリーダーの都合で、計画が減って、更に予定の日が雨で中止になったりしたのが、山行き頻度減少（→登頂記減）の主因です。

今回の久しぶりの行動は、“のんびり滞在プラン”と銘打った「国民休暇村・吾妻山ロッジ」の2泊企画（7月3&4日連泊）へ、地元山の会（男女各3人）で参画したものです。訪問先は広島北部の国定公園・比婆山連峰でした。

初日朝7時頃、リーダーの8人乗りワゴンが、メンバーを拾い集め、高速・中国道に乗り、トイレ休憩を挟みながら目的地へ向かったのです。

10時近くに2回目のSA（安佐SA）で休憩。“オナカスイター”の声と共に、女性陣より「たこ焼き」の差入れあり。一人4個の割り当て。美味しかった。11時頃、高速を下り、一般道へ。12時頃、宿に到着。

宿の食堂で、昼食（私はそば定食800円を注文）しながら計画打合せ。霧があるけど、宿のすぐ後ろの吾妻山（標高1239M）に登ることに。

13時20分頃、宿を出る。宿の付近が既に標高1000M位だから標高差は少ない。歩き出してすぐの池には、白い小さな（おそらく）睡蓮、更にその先に通常のピンクの睡蓮（※）。池を過ぎ、なだらかな台地状草原を歩く。視界10～15Mと霧が深く、登山口が解らない。少し迷いながら見つけた登山口からの登山道の脇には、色んな花々（※）が咲いていた。残念ながら、あざみ、アジサイ程度しか名前が解らない。少し詳しい人が説明したりしながら歩く。そう言えば、ひっそり咲いていた「残りレンゲツツジ」もありました。ササユリ（※）もありました。

1時間ほどで吾妻山頂上到着。相変わらずの霧で、景色は楽しめない。登頂記念撮影を済まし、下山開始。宿に近いと思われるあたりまで来たけど、道がはっきりせず迷う。GPSで歩行軌跡を取っていたメンバーがチェックしたら、順路から少しずれて目的地と反対方向へ進んでいた。ちょっとした距離なのに・・・。

15時半頃、無事、宿に到着。この日の歩行数は8429歩。

お風呂を浴びて、「笑点」を観たりして一服すると夕食です。鮎の塩焼き、肉のたたき、更には、山の宿にしては珍しい刺身もありました。生ビールでカンパイ。部屋に戻って、持参の高級かまぼこ、しょうゆ豆、裂きするめ、ポッキー、更には食堂から持ってきた漬物なんかを肴に、追加ビールと持参の梅酒で2次会。

翌日も1日目とおんなじような一面の霧。雨の天気予報もあったけど、宿の車の先導で、立烏帽子岳駐車場（標高約1190M）に送ってもらう。40分位掛かった。

「クマに注意！」表示の避難小屋で、最終登山装備。雨が降っていなかったの、10時頃、最初の山・立烏帽子岳（標高1299M）を目指す。いきなりブナ林。霧に煙った墨絵の世界（※）は私の好み。そのうち、雨が降ってきたので、雨合羽を着て完全な雨体制に整える。昨日のわか作りのてるてる坊主の効果は、前日で使い果たしたか。立烏帽子岳頂上はまもなくクリアしたが、そこを過ぎたあたりから、風も加わり、その猛烈さに歩行困難になってきた。次の山への道と駐車場への道との分岐点に来て、縦走登山のトライは中止。、駐車場へ帰る。

前述の避難小屋で着替えとかしていたら、雨も猛烈になってきた。登山中止して良かった。そのまま宿に帰ったらお昼頃。この日の歩行数は4007歩。

宿で用意してもらった弁当を、部屋で食べる。もちろんビールなど買い込んで。あと、午後は、始まるのを待つ如く14時半過ぎにお風呂に入り、昼寝したり、テレビをみたり、本を読んだり、女性陣は売店で買物をしたり、ゆっくりとしました。夜はご飯の後、宿のバスでホテル見物へ。30分掛けて「ホテルなんとかと書いたのぼり」の立つ小川のほとりに到着。確かにホテルはいたけど、その数は我が家の近所といい勝負。宿に帰ってからの行動は、前の日と同じパターンで経過。

その翌日は、打って変って青空混じりの好天。吾妻山に近い国民休暇村から比婆山連山の中心地・広島県民の森へ、車で迂回。1時間半位掛かった。公園センターで一服し、ここは実績経験のある私の勧めで、牛曳山麓の白樺林を見に行く。以前は秋の訪問だったので、春の白樺はどうか確かめたくて。ここが白樺の南限か。白樺の木の殆どが、幹の途中には枝も葉も無く幹がスーッと立っており、枝や葉は上の方にちょこっと付いていた。幹に這う小さな蟬の抜け殻も2つ見つけた。山はもう蟬の季節らしい。

白樺観賞会が終わって、一路山口へ帰る。到着は17時少し前。

登山としての天候には恵まれなかったが、山の花々、墨絵のブナ林も鑑賞出来たし、比較的ゆっくりできた旅でした。